

令和3年度 林業成長産業化構想技術者育成研修(ICT研修)

開催日時 令和3年11月9日(火)～12日(金)
研修場所 四国森林管理局会議室(高知県高知市)
現地研修 喜代須山国有林3090林班ほか(高知県中土佐町)
受講者 県職員3名、村職員1名 民間事業者2名 森林管理局職員6名

【概要】

- 1日目は開講前に任意参加による中央研修演習の補講が行われ、7名が参加した。続く開講式で四国森林管理局武田部長の挨拶、オリエンテーションに続き、林野庁安富係長による演習手順の説明、四国森林管理局サポート等から演習地等の説明がされた。その後、森林資源把握・路網配置計画演習、大谷講師による地域特性に応じた森づくり構想の講義が行われた。
- 2日目は、現地研修地に移動し、ヒノキ造林地内の標準地において、毎木測定等の演習と大谷講師による解説が行われた。収集した林分情報の集計を行い、調査データや目標林型等について班ごとに発表・質疑応答で午前の演習を終了した。午後は、UAV活用調査の一環としてシカ防護ネット点検状況のドローンによる実演と説明、続いて小原講師による演習地内の地形形成及び地質特性について講義が行われた。その後、演習地を遠望し会場へ戻った後、現地踏査のまとめを行い、2日目を終了した。
- 3日目はUAVによる森林資源調査演習が行われ、ビジョンテックによる音声講義と進行役による演習を行った。その後、林業成長産業化構想演習に関するQGISやFRDを使用した路網整備演習に続いて、各班がKJ法等により検討及び取りまとめ、プレゼン資料作成を行い終了した。
- 4日目は班ごとにプレゼン発表を実施。各班が発表、質問、フィードバックシート記入に分かれ、発表班以外の受講生や関係者からの質問に対してディスカッションを行った。発表後、枚田委員、小原講師、林野庁松山対策官の講評に続いて、受講生一人ずつが感想等を述べ、林野庁木下課長の閉講挨拶で全研修日程を終了した。
- 受講生の発言等から今後の森林づくりに向けたスタートラインをしっかりと意識できたようであった。

【研修の様子（1日目）】



林業成長産業化構想の設定条件の説明



森林資源把握・路網配置演習ラフスケッチの様子

【研修の様子（2日目）】



森づくり検討発表



U A Vによるシカ防護ネット点検実演

【研修の様子（3～4日目）】



K J 法を活用した構想作成：3日目



各班による構想発表：4日目